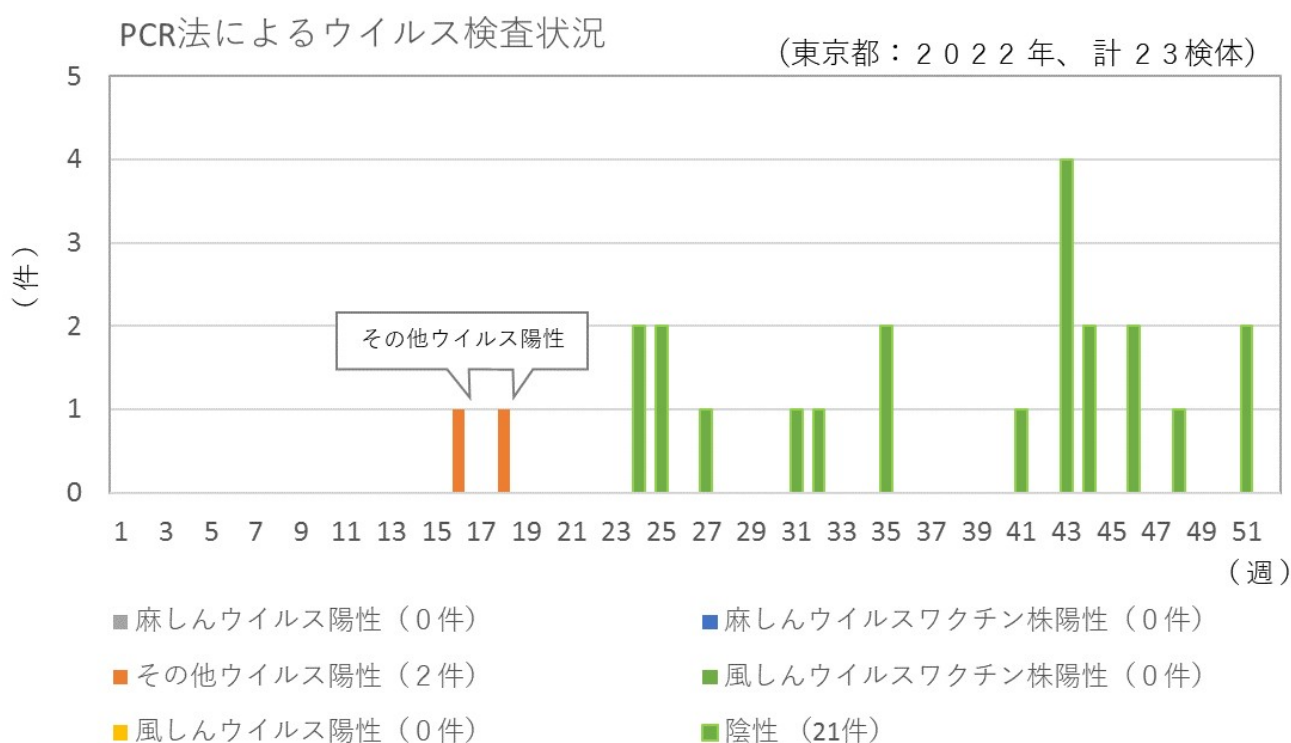


東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査*実施状況

(2022年1週から52週まで)

東京都健康安全研究センター

東京都では、麻しんまたは風しんと診断された患者で協力が得られた場合、健康安全研究センターに検体を搬入し、麻しんウイルスおよび風しんウイルスについてPCR検査を実施している。陰性だった場合にはパルボウイルス B19 型の PCR 検査を実施し、2 歳以下の患者検体についてはヒトヘルペスウイルス 6 型および 7 型の PCR 検査をさらに追加して実施している。



2022年1週から51週までで麻しんまたは風しんと診断された患者17名の23検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。その結果、麻しんウイルス、風しんウイルスは検出されず、その他のウイルスとして、ヒトヘルペスウイルス6型が2検体から検出された。

※PCR検査とは、特殊な酵素を用いて検査対象とするウイルス固有の遺伝子配列を増幅することにより標的となる病原体を検出する方法である。検出感度も高く、検出する対象の塩基配列を変える事により様々な検査に対応することが出来るため、現在では多くのウイルスの検査に応用されている。

<麻しん・風しん患者検体の遺伝子検査結果>

麻しんウイルス (検出なし) 風しんウイルス (検出なし)

その他のウイルス
ヒトヘルペスウイルス6型：2検体